

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011
世界中で日本を笑顔にする写真を募集！
「チャリティショートフィルムプロジェクト」
 ～エンドクレジットにあなたのTwitterやFacebookのアカウント名を掲載～



米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(略称:SSFF & ASIA)」(代表:別所哲也)は、この度の東日本大震災に伴い、チケット収益の一部を日本赤十字社、CIVIC FORCEへ寄付すると共に、チャリティ活動企画第一弾として、「チャリティショートフィルムプロジェクト」を実施します。



「チャリティショートフィルムプロジェクト」特設ページ
<http://www.shortshorts.org/2011/charity/index.html>

<企画コンセプト>

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア は、東日本大震災後、日本が直面している未曾有の困難の数々に、国民ひとりひとりが復興に向けて立ち向かっていこうとする今、私たちは映画祭として、何が出来るか何をすべきか議論に議論を重ねました。そしてたどり着いた結論は、ショートフィルムの持つ映像の力を通して、少しでも多く、人々に笑顔と感動を届け、未来へと一歩ずつ歩み続ける勇気と原動力をもたらすショートフィルムを皆様と共に作る事が、私たちのミッションだということでした。あなたの想いを込めた写真を繋ぎ、映画祭が一つのメッセージショートフィルムを作ります。

作ったショートフィルムのエンドクレジットには、実際使用した写真の応募者全員のクレジットを記載。また、著名なアーティストの方に楽曲を提供いただく予定です。

今年6月の映画祭でプレミア上映する他、インターネットを通して、世界中の人々に観て頂くつもりです。多くの方々にその作品を観て頂くと同時に、被災者の方々をはじめ、震災で悲しみを抱えた全ての人へエールを贈りたいと思います。

<ショートフィルム製作の流れ>

- ①Twitter、Facebook、メールから写真を投稿
- ②映画祭実行委員会で使用する写真を選定
- ③写真が選定された場合、応募頂いた方法(Twitter、Facebook、メール)のダイレクトメッセージにてその旨ご連絡します。
- ④映画祭からお送りする必要事項にサイン頂きます。
- ⑤ショートフィルムの製作(エンドクレジットに、選ばれた方々のSNSアカウント名を記載させて頂きます)
- ⑥6月16日(木)～26日(日)に開催されるショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011にてプレミア上映
- ⑦YouTubeや携帯電話での配信を予定

Twitter: @s_s_f (日本語) / @ssff_en (英語)

Facebook: <http://www.facebook.com/shortshortsfilmfestivalasia> (「Short Shorts Film Festival」で検索)

メール: egao@shortshorts.org

<本件に関するお問い合わせ先>	
<p align="center"><一般からのお問い合わせ></p> <p>ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局 TEL:03-5474-8844/FAX:03-5474-8202</p>	<p align="center"><メディアからのお問い合わせ></p> <p>株式会社プラップジャパン 担当:持富、伊藤、山口 TEL:03-3486-6868/FAX:03-3486-7502 Email:k-mochitomi@prap.co.jp</p>

下記いずれかの方法で、あなたの自信の一枚を応募してください。写真は、高解像度の写真を優先して選定致します。

■Twitterからの応募

映画祭の公式アカウント(@s_s_ff (日本語) / @ssff_en (英語))をフォローして頂き、ハッシュタグ #EGAOで応募して下さい。写真投稿サービスはどちらをお使いでも、また、画像直リンクでも構いませんがダウンロード出来る状態をお願いします。ハッシュタグ(#EGAO)は前後に文章がある場合半角スペースが必要です。検索出来ない場合がありますので正しく入力をお願いいたします。まれにハッシュタグ(#EGAO)が検索結果に表示されない事がありますので、投稿後、しばらくしても(#EGAO)検索に表示されていない場合、再度投稿をお願いいたします。また、映画祭実行委員会からのご連絡時にダイレクトメッセージを使いますので、必ず映画祭アカウントをフォローするよう、お願いいたします。

Twitter: @s s f f (日本語) / @ssff en (英語)

■Facebookからの応募

「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」のウォール(Wall)に写真を投稿してください。
・キーワード「Short Shorts Film Festival」で検索いただくか、下記URLへアクセスしてください。

<http://www.facebook.com/shortshortsfilmfestivalasia>

・ウォール(Wall)に写真をアップロードし、コメントには「チャリティ:ショートフィルムプロジェクト」と記載し投稿してください。

■メールからの応募

egao@shortshorts.jp まで写真データを添付してお送り下さい。

その際、必ずタイトルに「チャリティ:ショートフィルムプロジェクト」と記載して下さい。また、メールでの応募の際、※エンドクレジットに記載を希望するクレジット名を記載して下さい。(※写真が採用された場合)

★テーマ

『笑顔になる瞬間』

※お一人様何点でも応募いただけます

※モノクロ、セピアでの応募も可

★募集期間

2011年4月7日(木)～4月25日(月)

★製作するショートフィルムのエンドクレジット表記

製作したショートフィルムには使用させて頂いた写真応募者皆様のアカウント名やお名前をクレジット表記させて頂きます。その際、希望するクレジット名を応募の際にご記入下さい。(実名やSNSのアカウント名、メールアドレスいずれも可能です)

※公序良俗に反する名称の場合には、映画祭実行委員会の判断でクレジット表記をしない場合があります。ご了承下さい。

★ご注意

必ずご自身が撮影した写真に限ります。被写体が人物の場合には応募に際しては必ずご本人(被写体)の承諾をいただけてください。また、被写体が未成年の場合には親権者の承諾が必要です。他人の著作権、肖像権を侵害するような行為が行われた場合、映画祭実行委員会はそれに関するトラブルの責任は、一切負いかねます。また、その様な苦情が第三者から発生した場合には、応募者にご連絡させていただきます。特定の商品やブランドを表現した写真は禁止させていただきます。また、映画祭実行委員会が独自の基準で応募写真を選定させていただきます。何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

★入賞作品の著作権

・応募作品(選定作品含む)の著作権は撮影者(応募者)に帰属しますが、製作されたショートフィルムの著作権は映画祭に帰属します。

・応募写真を使用してショートフィルムを製作する際、応募写真の編集権は弊社にあり、製作過程に合わせ、トリミング、マスクング、加工、エフェクト編集させて頂く場合がございますが、ご了承下さい。その際も、応募後のキャンセルは受けませんので合わせてご了承下さい。

・選定作品は映画祭HPなどに使用する場合がございます。



米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、毎年4000本以上にも及ぶ作品が、世界50以上の国や地域からよせられ、のべ14万人を動員するイベントです。これまでに、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、などでも開催され、2010年にはマレーシアでも開催。「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニークな映画祭」として注目を集めています。また審査員には、大沢たかお、押井守、奥田瑛二、崔洋一、デーブ・スペクター、武田双雲、竹中直人、土屋アンナ、寺島しのぶ、野口健、堀北真希、村上龍、桃井かおり、山田優など多彩な顔ぶれをお迎えし、様々な視点から審査をして頂いています。

2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また同年10月、石原慎太郎都知事の提案の下、「東京都を拠点とするアジア映像文化のショーケースを設ける映画祭」として「ショートショート フィルムフェスティバル アジア」を「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」の兄弟映画祭として開催。日本で初めての、アジア諸国のショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートしました。現在は、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」として、毎年同時開催を行っています。

また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。本映画祭参加監督には、今や米国アカデミー賞受賞監督として名高いジェイソン・ライトマン監督や、「カンフーパンダ」などPixarで活躍するマーク・オズボーン監督、シンガポールの新鋭、「881 歌え！パパイヤ」のロイストン・タン監督などがおり、今や第一線で活躍する監督も続々と輩出しています。

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011 開催概要

会場: 表参道ヒルズ スペース オー (東京都渋谷区神宮前4-12-10表参道ヒルズ本館地下3F)
日程: 2011年6月16日(木)~19日(日)

会場: ラフォーレミュージアム原宿 (東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿6F)
日程: 2011年6月22日(水)~26日(日)

会場: TOHOシネマズ 六本木ヒルズ(オールナイト上映) (東京都港区六本木6-10-2 けやき坂コンプレックス)
日程: 2011年6月17日(金)・18日(土)

会場: シネマート新宿(3D部門上映) (東京都新宿区新宿3-13-3 新宿文化ビル6・7F)
日程: 2011年6月17日(金)~24日(金)

会場: ブリリア ショートショート シアター(横浜開催) (横浜市西区みなとみらい5-3-1フィルミー2F)
日程: 2011年6月18日(土)~26日(日)

※映画祭オフィシャルHPは5月初旬にオープン予定 (www.shortshorts.org/2011/)

※チケットは5月14日(土)より発売開始

※オープニングイベントは6月16日(木)、アワードセレモニーは6月26日(日)に行われます。

完全招待制のため、チケットは販売致しません。

<本件に関するお問い合わせ先>

<一般からのお問い合わせ>

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局
TEL:03-5474-8844/FAX:03-5474-8202

<メディアからのお問い合わせ>

株式会社プラップジャパン
担当: 持富、伊藤、山口
TEL:03-3486-6868/FAX:03-3486-7502
Email:k-mochitomi@prap.co.jp